

## 埼玉・栃木支部

### 渋沢栄一史料館と旧古河庭園を巡る会

白倉洋平

次期1万円札の肖像が渋沢栄一との発表を機に、7月25日東京都北区西ヶ原2丁目の飛鳥山公園内の旧渋沢庭園と1丁目の旧古河庭園を巡る会に参加。

#### ◇飛鳥山公園。

徳川吉宗が1,000本の桜を植えて江戸庶民の行楽地とした場所。栄一はここに別邸を構え、日本館、西洋館、茶室、文庫などを建設し61才から91才で亡くなるまで本邸として使用。

現在は空襲で焼失し、晩香蘆、青淵文庫と1982年に建てられた渋沢史料館のみが存在している。

#### ◇史料館の見学。

時代の変革期とはいえ、豪農（一部商家）の生まれで有りながら、父の勧めも有り高級武士にも劣らぬ教養を身に着け剣術の修業も積み、そろばん片手に商売を経験、一時は尊王攘夷の思想に傾倒も、反対立場の幕府徳川慶喜の家臣となる、これがきっかけでパリ万博やヨーロッパの文明に触れる事が出来、この豊富な経験と意欲と知識が後に500社にもものぼる会社や学校、病院等の設立に寄与している。

小生の現役時代にオーディオ担当重役の言葉で

「成功の秘訣は＝第一に経験×第二に意欲×第三に知識」を思い出しながらの見学だった。

2時間の見学予定でしたが展示資料が非常に多く、もう少し時間が欲しかった。



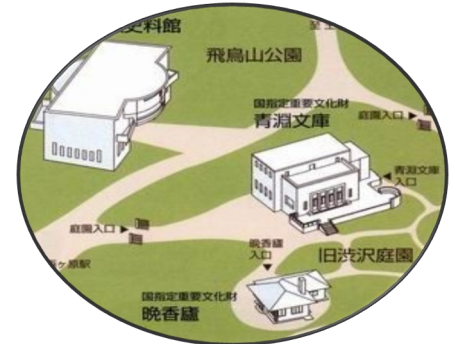
#### ◇旧古河庭園。

飛鳥山公園から途中で昼食を済ませ徒歩10分程度で1丁目の旧古河庭園に到着。

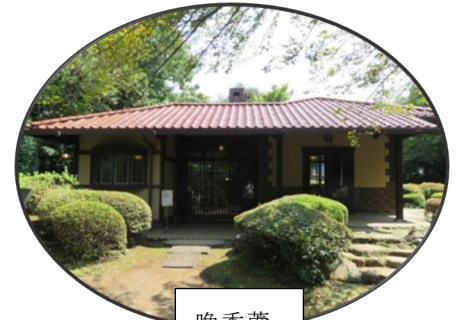
花の時期が過ぎていて素敵なバラの花は見れなかったけれど重厚な石造りの洋館と池を含めた日本庭園が素晴らしかった。

#### ◇参加者

石川辰男・宇留賀弘亜・尾内三郎・田中孝男田辺幸男  
土川茂・西泰男・浜戸三徳・望月勇紀夫・梁瀬彦弥・白倉洋平



青淵文庫



晩香蘆



洋館



日本庭園